

今必要なのは、未来への責任と行動力！

震災に強い安全・安心な都市を整備します！

首都直下型地震の切迫性や東日本大震災、熊本地震の発生を踏まえ、木密地域の改善に向けて、不燃化特区や特定整備路線の整備を加速します。特に羽田地区においては、防災生活道路の整備を進め、延焼遮断帯内側の市街地の不燃化や耐震化を平成 32 年までに 70%以上に加速します。



子育て支援拡充に向けて

都政の重要課題である待機児童対策では、「東京都子供・子育て支援総合計画」に基づき5つ目標を掲げ、施策を展開しています。

- 目標 1 地域における妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援
- 目標 2 乳幼児期における教育・保育の充実
- 目標 3 子供の成長段階に応じた支援の充実
- 目標 4 特に支援を必要とする子供や家庭への支援の充実
- 目標 5 次代を担う子供達を健やかに育む基盤の整備

特に保育サービスの定員を平成 31 年度末までに 7 万人分増やし、待機児童を解消致します。

島嶼振興の一層の推進

日本の最南端の沖ノ島（東京から 1746 km離れた東京都小笠原村）の排他的経済水域（EEZ）で 4 月下旬海上保安庁に台湾漁船が拿捕されたことに台湾当局が抗議し、巡視船など 3 隻を派遣して、漁船保護を名目に EEZ 内にしばらく留まるという事件がありました。これは 5 月 20 日の政権交代を前に馬英九総統が退任後の中国政府への影響力を保持しようとする政治的思惑に満ちた許しがたい行為であります。こうしたことを踏まえ、日台関係の緊密化、対日重視を示している民進党（蔡英文総統）議員との会談と交流、また次期総統へのご挨拶の為、台湾へ伺いました。小笠原諸島は東京都であり、今後港湾整備や島の保全、気象観測や海洋調査などの拠点として活用できるよう取り組んで参ります。

東京外環道路の更なる延伸

東京外環環状道路は、1963 年に首都圏の道路交通の骨格として計画された 3 路線 9 放射線のネットワークの一つです。都心から 15 kmの圏域を連結する延長約 85 kmの道路で、渋滞緩和、環境改善や円滑な交通ネットワークを実現する上で重要な路線です。現在関越自動車道路から東名高速道路までの 16 kmを大深度トンネルで繋ぐ工事を 2020 年の完成を目指し取り組んでおります。また平成 29 年度までに三郷南ジャンクションから千葉県市川市高谷ジャンクションまでが開通致します。今後は東名高速道路から羽田空港までの南伸に向けて取り組んで参ります。



これからも皆様の声を都政へ反映するため、取り組んで参ります。



東京都議会自由民主党 鈴木あきひろのプロフィール

昭和 37 年 8 月 21 日 大田区中央生まれ 池上育ち
久が原幼稚園/大田区立徳持小学校/大田区立連沼中学校/
都立雪谷高等学校/青山学院大学法学部卒
学生時代、アフリカ・スーダンにおける国連支援活動に
ボランティアとして参加。昭和 62 年父亡き後、侘光伸舎入社。
63 年取締役として経営に携わる。

平成 11 年 大田区議会議員初当選
平成 15 年 大田区議会議員 2 期目トップ当選
平成 19 年 松原忠義前都議会議員の後継として補欠選挙にて
東京都議会議員 1 期目当選
経済港湾・都市整備・総務 各委員会委員等歴任

平成 21 年 都議会議員 2 期目当選
平成 22 年 新銀行東京調査特別委員会委員
公営企業委員会理事
決算特別委員会副委員長
平成 23 年 財政委員長
平成 24 年 総務委員会副委員長・防災対策特別委員会委員
平成 25 年 東京都議会議員 3 期目トップ当選
信用保証審議会・中央卸売市場審議会・平成 27 年
決算特別委員会副委員長・都議会自民党政調会長代行・
議会運営委員会委員等歴任
自民党大田総支部常任総務・公営企業委員会理事・
都議会自民党建築設備振興推進議員連盟幹事長